

理財部会長報告

会議名 第1回理財部会（オープン部会）

日時 2022年7月20日（水）10:00～11:30

場所 秋田商工会議所 7階 ホール80

出席者 ・ 正副部会長 3名、水澤専務理事
・ 理財部会員 8名、他部会員 33名 計 45名

懇談

テーマ ①秋田県DX推進計画の概要と取組紹介
②県内企業におけるデジタル化事例紹介

ゲスト 秋田県産業労働部産業政策課
デジタルイノベーション戦略室 室長 大門 英明 氏
〃 主任 池田 圭佑 氏
秋田県企画振興部デジタル政策推進課 主任 佐藤 大輔 氏

秋田県DX推進計画の概要

【策定趣旨】

人口減少をはじめとした地域課題の解決を図りつつ、社会経済の変化に対応しながら本県が力強く歩んでいくために、デジタル技術の活用による社会の変革や新たな価値の創出を図る

【推進期間】 令和4年度～令和7年度（4年間）

【計画の理念】

「デジタルデバイド解消、人に優しいデジタル化」の推進により、いつでも、どこでも、県民一人ひとりがそれぞれのニーズに合ったサービスを選ぶことができる社会の実現

【重要な視点】

・利用者ファースト ・データ活用による価値の創出 ・人材育成

【目指す将来像】

・あらゆる分野においてデジタル技術の実装が進むことで、行政サービスの向上、地域産業の生産性向上や競争力強化、県民生活の様々な場面における利便性の向上を目指す

施策の柱と取組

- ①行政（ユーザー視点、県民の利便性向上、行政事務効率化）
 - ②産業（一層のデジタル化推進、生産性向上と競争力強化）
 - ③暮らし（医療・交通・教育をはじめ各分野のデジタル化）
- 加えて①～③の柱を支える環境基盤の整備・充実

②産業 ～県内企業のDX推進～

取組の分類と推進指標（令和7年度まで）

- ・産業の生産性向上と競争力強化

経営課題解決に対するICT活用度 38.3% → 56.3%

- ・デジタル技術を活用した観光施策の推進

延べ宿泊者数 2,546千人 → 3,800千人

県内企業におけるデジタル化事例

①製造業（秋田エプソン(株)）

データベース一元化・データ解析ツール活用・人材育成

②小売・サービス業（(有)小西タイヤ）

自社独自システムによる在庫管理・作業管理効率化

③介護福祉業（(株)あきた創生マネジメント）

ケア管理、WEB会議、勤怠管理、人事評価、会計管理

④小売・飲食業（(有)ビー・ステップ）

通信販売の受発注業務効率化

⑤建設業（(株)和賀組） タブレットによる人員配置システム導入

⑥宿泊業（(株)協同企画）

宿泊管理システム、従業員コミュニケーションツール導入

⑦製造業（(株)秋田マシナリー）

電子受発注システム導入、進捗管理効率化



<https://digital.pref.akita.lg.jp/>



デジタル化・DX成功のポイント

①経営者の理解と従業員の積極的な関与

（現場の推進役育成、経営者と現場一体での取組）

②広く情報収集

（業者・商工団体・金融機関・セミナー等）

③コストを抑えて試してみる

（低コストからの意識改革、成功体験の積み重ね）

【支援メニュー】

①企業内デジタル人材育成事業

②秋田県DX推進ポータルサイト AKITA DeX

（マッチング機能）

③デジタル化トライアル補助金

質疑応答

- ・ 社内でデジタル化を推進しているが「**経営者と現場、年齢等による理解度の格差**」をどう解消できるか。
→現場での推進役がキーマンとなり、経営者の思いを現場に共有することが重要。また年齢等から理解が難しい場合も、実際に触れて使いながら慣れてもらう。
- ・ 「デジタル化の方法を教えるコーチ」が不足している。
人材の育成支援に力を入れてほしい。
- ・ 行政に頼るだけでなく、事業として行う商工団体・業界団体・金融機関等が支援を求める企業と積極的に関わることが重要。